

報道関係者各位

令和5年8月25日

家庭での食品ロス実態調査の参加者を募集します

・家庭での食品ロス削減に向け、京都府立大学と共同で実施する『家庭での食品ロス実態調査』の参加者募集を行います。

1. 実施期間

前期：令和5年11月2日（木）～令和5年11月29日（水）

後期：令和6年2月20日（火）～令和6年3月4日（月）

2. 内容

送付する専用ごみ箱（20L ペール）とWi-Fi ルーターなどのキットを自宅に設置し、期間中、家庭で出た食品ロスを分別し専用ごみ箱に入れる。また、食品ロス削減の取り組みをするグループに割り振られた参加者は、前期の後半2週間の間、食品ロス削減ツールを利用して食品ロス削減の取り組みを行う。

3. 対象

次のすべてに該当する方

- ・世帯人数が2人以上
- ・食事の支度や買い物を日ごろ行っている
- ・前期、後期の全調査期間に参加可能
- ・10月、12月、3月の計3回実施するアンケートに全て回答することが可能

4. 募集人数

60人程度 ※多数の場合は選考あり

5. その他

参加者には謝礼 QUO カード（6,000円分）を支給する。また、参加者向け説明会を10月下旬と11月中旬の2回、オンラインで開催する。

6. 申し込み方法

9月19日（火）までに申し込みフォームから申し込み。以下のQRコードからアクセス可能。

QRコードは広報まいづる9月号に掲載し、舞鶴市HPでも公開予定。



7. 応募結果

10月上旬までにメール等でお知らせする。



SDGs 未来都市

舞鶴市 生活環境（担当：田中、川北、土本）

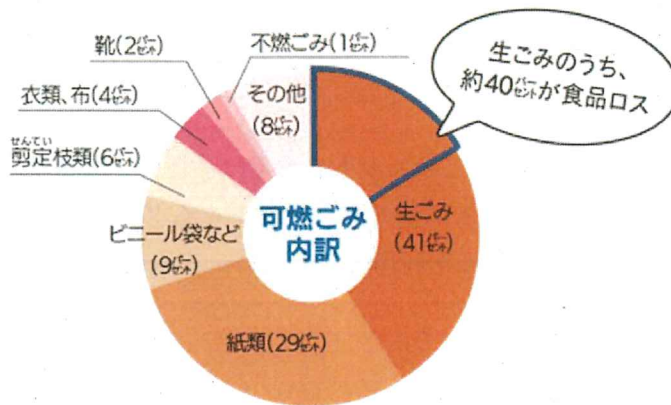
〒625-8555 舞鶴市字北吸 1044

TEL:0773-66-1005、FAX:0773-62-9891

E-mail:kankyuu@city.maizuru.lg.jp

8. 取り組みの背景・舞鶴市のごみの状況

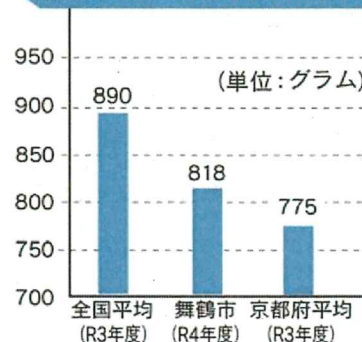
- 令和3年7月のごみ処理手数料の見直し以降、舞鶴市のごみ量は減少しており、令和4年度の市民1人1日あたりごみ排出量は818.3gと、見直し前の令和2年度と比較し82.5g、約9%減少しています。
- こうした中、本市での家庭から排出される可燃ごみのうち約41%が生ごみで、その約40%が「まだ食べることができる食品」、いわゆる「食品ロス」がごみとして排出されています。今後のごみ減量では食品ロスの削減が重要となっています。



市内のごみ排出量推移(1人1日あたり)



全国、京都府との比較(1人1日あたり)



9. 共同実施者 京都府立大学大学院 山川肇 教授（舞鶴市廃棄物減量等推進審議会会長）のコメント

- 食品ロスの削減は舞鶴市だけではなく、全国、さらには世界共通の課題となっています。
- 家庭での食品ロス削減の取り組みには様々なものがありますが、この調査では、特に冷蔵庫の整理や買い物時の工夫により、食品ロス量がどのように減少するのかを調査します。
- この調査を通じて、こういった取り組みが食品ロスの削減に効果的であるのかを調べ、これからの食品ロスの削減の推進に貢献したいと考えています。

